

NCS理事選挙 推薦状一覧

推薦：榎田源太郎

チェス歴35年
会社経営 浜根謙一

榎田さんと親しくさせていただくようになったのは、2008年、スロベニアで開かれたチェスオリンピックがきっかけです。それ以来、チェスの指導を受けたり経営のノウハウを教えてもらっています。

榎田さんほど、日本のチェス会の歴史を熟知している人はいないでしょう。また、ご自身のチェス歴においても素晴らしい成績を残しておられ、真にレジェンド的存在です。

その彼が立候補すると聞き、まさしく機が熟したと思いました。彼が理事になれば、チェス発展のためにとっても役立つと思います。チェス会の変遷を振り返りながら、何をやればよいのか、どのように発展させるかといった運営方法をお持ちだと思います。

彼は長年の会社経営手腕により、人をまとめる能力に長けています。その能力を、協会の運営でも発揮してくれるのではないのでしょうか。また、彼には経済力のみならず、人脈も幅広く持っておられるので、今後の展開が大いに期待できると確信しています。

推薦：榎田源太郎

慶應義塾大学総合政策学部教授
慶應義塾評議員・日本経済政策学会会長
小澤太郎

榎田さんとのお付き合いは、私が他大学から慶應に戻った後にチェスクラブの顧問をお引き受けする頃にお会いして以来で

すから、およそ四半世紀になるかと思います。私が慶應義塾高校の3年生の時に六本木の国際文化会館でのチェス大会に出場した事をきっかけに、榎田さんのご活躍を日本チェス協会の資料で読んで知った記憶があります。しかし、経済学部に進学後、たまたまチェスクラブに入会せず、非常に長い間チェスからは遠ざかっていました。ですから、顧問として榎田さんをはじめとするチェスクラブのOBの方々とお会いできるようになった事を大変嬉しく思いました。

OB会会長でもある榎田さんは、過去に12回全日本チャンピオンに輝いた、まさにわが国のチェス界におけるレジェンド的な存在ですが、お人柄は至って謙虚であり、かつ親しみやすくオープンマインドな方だと思います。ベテラン、中堅、若手、男女、日本人、外国人を問わず、榎田さんと対戦した方ならどなたも感じている事だと思いますが、チェスに対する姿勢が真剣で、局後の検討の際には対戦相手と共に納得のいく良い手を探求していくのみならず、改めてチェスの楽しさをも感じさせてくれる「真に」コミュニケーション能力の高い方だと思います。

また長らく会社を運営されている事から、マネージメントのプロでもあり、組織運営に関しても大いにその手腕を発揮して頂けるのではないのでしょうか。NCSの理事という事になりますと、先ずチェスへの愛情が求められるのは言うまでもありませんが、会員は国内のトッププレイヤーから初心者まで様々であり、そうした方々に万遍なく満足して頂ける運営を行っていかねばなりません。そして新規会員数を増やす為の普及活動にも当然熱心でなければなりませんし、その為の実効性のある戦略を練れる人でなければ

なりません。さらにわが国を代表した立場でのFIDEとのやり取りもあるでしょう。この場合、語学力もさることながら、国際的に通用する見識が問われる事になると推察されます。こうした様々な能力を求められる大変な役職ではありますが、榎田さんはボランティアの方々の方々の志気を高め、適材適所でサポートを受けながら仕事をこなしていただけるだけの優れたマネージメント能力を備えている方であると確信しています。

以上の事から、私は榎田源太郎さんをNCSの理事として推薦する次第です。

推薦：真鍋浩

小島慎也

今回のNCS理事選で、真鍋浩さんの推薦人となりました小島です。この2年は新型コロナにより、大会や交流の機会も少なく、立候補者のことをあまり知らない会員のかたも多いかと思っています。そういったかたたちに向け、真鍋さんのことを私からご紹介させていただきつつ、今回の理事選に関して私の考えをお伝えできればと思います。

私も中学生の頃からチェスをしており、大会への参加も20年を超えるようになりました。真鍋さんとは中高生の頃から対戦、交流の機会があり、長いお付き合いになります。真鍋さんの第一印象は非常に誠実で、チェスに対しても真摯に取り組んでいる人だというものです。敗れた試合の後も冷静に検討戦に参加していただきますし、前日の試合内容について意見を交わし合うことも昔からありました。多少情勢不安のある国に試合に行った直後に心配して下さったり、旧団体である日本チ

チェス協会に上手く意見が通せず
に困っていた際に、間に入って
交渉して下さったりしたことを
よく覚えています。言葉を交
わし、交流を図っているのは私
だけでなく多くの人に対してで
あり、周囲を気にかけ、時にリー
ダーシップを取り、20年近く
日本のチェス界の中で尽力して
きた人です。

英語力やパソコン操作技能と
いったNCSが募集している理事
の条件とは別に、現在のNCSの
新しい理事にどういった人物が
ふさわしいでしょうか。私が思
うに、幅広い世代の声を柔軟に
聞き入れることができること、
語学力とは別に高いコミュニケ
ーション力と行動力があること、
NCSを動かしていくうえで
ビジネス的な観点を持っている
ことなどが重要です。それらを
踏まえたうえ、真鍋さんがこれ
まで日本のチェス界で積み上げ
てきた信頼や、銀行勤務の中で
培ってきた経営の知識、ノウ
ハウなどは、今後、理事として
NCSを任せるに相応しいものだ
と考えます。

NCSはまだスタートから日が浅
く、今後どういった発展を遂げ
ていくかは、今回の理事選が大
きな意味合いを持つと思います。
どういった人が理事を務める
団体であれば、多くのかたに安
心してチェスを楽しんでいただ
けるか。今回の理事選はそれを
真剣に考える良い機会だと思
いますので、私のこち
らでの意見がその一助となれば
幸いです。

推薦：真鍋浩

ヒーバート由美子

私と真鍋さんとのお付き合い
はNCSがスタートする以前から
となります。今に至るまでず
っと陰で支えてくれた強い存
在です。彼のことを知っている
方は彼の素晴らしさはご存知で
しょう。英語堪能、国際的経験
が豊富なことから物事を様々な
角度から見ることのできる方

です。金融関係にお勤めである
ため会計関係などにも詳しく、
NCSの会計関係などでも頼
りにできる方です。何よりも大
切なのは、彼の信頼性だと思
います。ご自分の意見をしっか
りと持ちつつも他人の意見をし
っかり聞き入れ、統合的に物事
を見て判断をする、そのような
力を持っています。

NCSは波乱の状態からスタート
しました。チェス界のためを
思いスタートしたNCSであ
っても運営の妨げになるような
行動を取ったりする方がいる
中、冷静に物事を見て私や初期
NCS発起メンバーを支えて
きてくれました。

チェスプレーヤーでありつつ
もプレーヤー以外の目線を持
った方であり、自分1人だけが
リーダーである、などと言う
意識ではなく、みんなと一緒に
チームの一員としてNCSを大
きくしていくてくれる存在
です。理事として必要な英
語力も十二分に必要とされる
ビジネスレベルの英語であ
っても全く問題なく任せられ
ます。真鍋さんがチェスの
駒を扱うときの丁寧さ、マ
ナーの良さなども大会で接
してきている方にはよくわか
るでしょう。真面目でありつ
つも気さくでオープンに物事
に対応できる姿勢はNCSに
とって大きなプラスです。

NCSは様々な方が集まった
団体です。チェスに対する意
識も様々です。しかしチェス
が好きな人たちが集まっている
ことは確かだと思います。そ
のような団体のリーダーとし
て相応しいのはチェスを愛
する気持ちを暖かく持ちつつ、
その周りで起こることを冷
静に見つめ、色々な観点から
状況を見て判断することが
できる人ではないでしょうか。
私自身そのようなことを意
識して今日までやってきた
つもりですが、大変難しい
ことでした。真鍋さんならば
それができる器量を持っている
方だと確信しています。

推薦：小笠誠一

石井伊知郎

私は小笠誠一さんを理事に推
薦します。

小笠さんは長年にわたりチェ
スの普及にいろいろと取り組
んできました。

具体的には、

1. チェスクラブの創設に関与
しチェスのできる環境を作り
出す。

柏チェスクラブ、静岡チェス
クラブ、千葉チェスクラブ。
現在千葉チェスクラブの代表
です。

2. チェスの初心者向けの指
導。チェスクラブ、教室、個
人レッスン等でチェスの底
辺の拡充に寄与する。

3. チェスの訳本を刊行。

中級者向けに戦略の本を訳し
チェスの持つ面白さを伝える。

これらの実績から小笠さんが
理事としてチェスの普及に
尽くすことが期待されます。
適任者だと思います。